



# 兵庫支部NEWS H22年 11月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール [hn75kb@ybb.ne.jp](mailto:hn75kb@ybb.ne.jp)

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 城戸善弘氏(41中)が3度目の優勝 第33回三金ゴルフ兵庫・関西合同コンペ

秋晴れの絶好のゴルフ日和に恵まれた10月13日(水)神戸市北区の六甲国際ゴルフ倶楽部に於いて、第33回三金ゴルフ兵庫・関西合同コンペが開催され関西支部から9名、兵庫支部から12名、そしてゲスト参加の3名を加えて、6組24名が参加し熱戦を繰り広げた。



(スタート前に24名全員で記念写真)

3組ずつアウトとインに分かれて、午前8時6分に同時にスタートし、午後3時過ぎには最終組があがり続いて兵庫支部松山・関西支部御堂の両幹事が世話役となり、会食及び表彰式が進められた。

優勝したのはH9年春、H11年秋に続いて3度目となる城戸善弘氏(41中国)で、グロス87、ダブルペリアによるハンディ16.4、ネット70.6で、優勝カップと優勝賞金老萬円が授与された。

準優勝は久芳健二氏(44中国)で、グロス105、ハンディ34.4、ネット70.6、第3位は三本寛氏(41中国)でグロス90、ハンディ18.8、ネット71.2で、奇しくも中国科卒が上位独占の形となった。

参加者全員の成績表は3頁に掲載しています。

### 優勝者城戸善弘氏談話

今回の優勝は、ダブルペリア方式のハンディに恵まれたものと言う事で、グロスから見れば3位になります。自分のゴルフの内容ですが年々腰が悪化しており、来年手術して直すことに致しました。

ティーショットでも、セカンドでもOBがあり不安定なゴルフでしたが、グリーン廻りの寄せワンが5回ありなんとかスコアをまとめることができました。

三金会のゴルフには以前にも参加させて戴いたこともありますが、今回も感じた事は、プレーは早く、マネーも非常に良いと言う事です。

大変楽しいゴルフができましたことに御礼申し上げます。



## 忘年会は12月4日(土) 午後5時半から三宮「かこみ市場」で



**兵庫支部忘年会**  
開催日時:平成22年12月4日(土)午後5時半から  
開催場所:三宮創作和食「かこみ市場」  
中央区北長狭通1-9-3レインボープラザビル5F  
Tel. 078-321-0181  
会費:5000円/一人  
申込先:兵庫支部事務局 中村明人(41商)  
Tel/Fax 0798-77-4998  
E-mail: [akito910@cl.bb4u.ne.jp](mailto:akito910@cl.bb4u.ne.jp)

## 勝てない兵庫、11連敗 第15回関西・兵庫囲碁交流会開催

去る10月17日(日)午後1時から大阪・梅田の日本棋院関西総本部に於いて第15回関西支部・兵庫支部囲碁交流会が開催された。関西支部から茨木幹夫7段(34米英)藤本隆夫7段(47経済)小葉竹英樹4段(40商)都留猛3段(32米英)兵庫支部から大岡一成7段(会友)平間正昭3段(37商)名越英昭2級(37米英)前原賢作3級(40商)安徳信義4級(44商)の9名が参加。

下表の通り兵庫支部が8勝10敗で11連敗、通算成績を3勝12敗とした。写真は前列左から茨木7段



### 第15回兵庫・関西囲碁交流戦 平成22年10月17日(日)

	茨木7段	藤本7段	小葉竹4段	都留3段	
大岡7段		○	○	○	3勝0敗
平間3段	○	○	X	X	2勝2敗
名越2級	X	○	X		1勝2敗
前原3級	X	○	X	X	1勝3敗
安徳4級	○	X	X	X	1勝3敗
	2勝2敗	1勝4敗	4勝1敗	3勝1敗	

兵庫支部:8勝10敗、関西支部:10勝8敗  
通算成績:兵庫支部3勝12敗(チーム対抗)  
125勝181敗2分(個人戦)

## 次の10年に向けて、母校と共に更に飛躍を 第60回北九大同窓会総会開催

平成22年度同窓会総会・懇親会が10月24日(日)小倉駅北側のリーガロイヤルホテル小倉に於いて開催された。兵庫支部から安徳支部長兼評議員が、前日に同ホテルで開催された平成22年度第2回評議会及び総会・懇親会に出席し、永翁副支部長は総会・懇親会に出席した。

### 平成22年度北九州市立大学同窓会評議会に出席して

兵庫支部支部長 安徳信義(44商)

10月23日(土)の評議会、続く24日の第60回総会に出席する為、30数年ぶりに降り立った小倉の駅から見る景色は、当時の面影が消え失せ、まだ訪れたことの無い、まるで未知の世界の様であった。

開始時間まで2時間以上あり魚町商店街をぶらつくが、通りの道幅がこんなにも狭かったのかと、またも驚きながらぶらぶら、然しながら通行人はかなりの人出で結構にぎやかだった。

モノレールで競馬場駅まで行き北へ少し引き返せば大学の西門、北方駅は当時北門のすぐ近くにあったのが、今はさらに北西に位置する為この駅が最寄りの駅となり、案内標識も含めまるで競馬場の為の駅の様相であった。

学内に入るとカジュアルな出で立ちの学生、特に女子の元気な姿が目についたのは、男女比率が60%と女子が多いというだけの理由だけではなさそう。31日から始まる第64回青嵐祭に向けて踊りや楽器の練習、立看板の準備やらに忙しそうだった。イベントには森三中、AKIが呼ばれ「瞬輝」をテーマに掲げ、ミスコン10～Sweet Berry～、行けMen's 2010～Get your mind～、カップルコンテスト～君に届け～、裏コン～だって男の娘だもん～と、イベントがずらりと並ぶあたりは今時の大学祭か、就活を忘れ大いに青春を謳歌して欲しいと思った次第。

総会の記事は永翁副支部長に任せて、ここでは平成22年度第2回評議会について報告します。

会長挨拶で田村新会長は高齢化社会での同窓会の役割は若手の参加者が減少している事実を踏まえ、年配の同窓生は肉食世代としてこれまで頑張って来られた訳で、そのエネルギーで若手を同窓会に引っ張り込んで欲しいこと。支部会員が5万人を超え今や北九大の名前は日増しに強くなっており、卒業生が社会のリーダーとして日々努力されている事が貢献に寄与している。又財政的には新入生会員の会費収入が2600万円を超え、なくてはならない財源である等を述べられた。

他支部からの5名の新評議員の紹介を併せて私も名を呼ばれその場で一礼。田川支部の栗山正人氏を議長に選出し各議題を審議し、議題4の同窓会規定一同窓会会員の公職立候補者推薦規定及び同窓会会員以外の公職立候補者推薦規定一の廃止については、門司支部が反対意見をかなりの長時間縷々述べられた。要旨は同窓生が地域の為に頑張っている姿を見るにつけ、勇気付けられるし自然に応援をしたくなる。同窓会推薦という形は有形無形に有難いので継続して欲しい。ノ

これに対して在職中に規定の廃止を求めて会則検討委員会に諮問していた前々会長の江口氏が発言者の指名に応え、推薦した支部からの反対意見への対応等の弊害に苦慮した経緯を話され、もはやその役目は終わったのではないかと意見を述べられた。田村会長も自ら発言を求め、あくまでも推薦の廃止は本部サイドからのものであり、その責任において支部や有志が推薦支援することに対して、本部はそれを妨げるものではない旨、本部としてのスタンスを述べられた。ここで議長が多数決を出席者全員に求め、私も賛成し廃止が決まった。

その後各支部の質問・意見として、福岡支部から卒業後2年間の新卒者には5千円が助成されるようになったが、更に交通費の負担もしてはと提案があり、関西支部からは支部として名簿の精査をやっているが、同窓会全体の不明者が1万8千を超える現状は一部として不明者の追跡はいかんともし難く、何らかの対策が望まれるなどの意見が出され閉会した。

続いて5つのテーブルに分かれ付帯会議に入り、私も他の9支部と「支部の活性化」のメインテーマのもと、活発な議論に加わった。各自3分間の支部の現状を話し、私も兵庫支部総会で述べた活性化に向けた取り組みを語った。

それらの中から各支部が抱える共通の問題点をピックアップし各論に入った。その中では各種イベントには家族にも参加を促しその費用を支部負担とし、会員の定着を図りかなりの成果がある。総会は卒年度毎に持ち回りで企画実施に当たらせ大学の卒業生であることを自覚させる。役員全員に参加意識を持ってもらうため大幅な権限移譲を断行した。総会案内の返信葉書に各種多様なアンケートをとりそれぞれを精査して、各自にフィードバックした結果何人かの新規参加者が生まれた等々、兵庫支部にも採り入れられる事が多く有意義であった。

結論として多数の人が言ったように、地道な活動を継続してやる以外には無いと言う事であろう。これらことを踏まえ同窓会本部としても今後の検討課題として引き続き討議を重ねるという結論に達し会議を終えた。翌日の総会の朝ホテルから見る景色は折からの秋雨に街全体が霞んでいた。

### 第60回北九大同窓会総会・懇親会に出席して

兵庫支部副支部長 永翁正臣(41商)

10月24日リーガロイヤルホテルで11時より、同窓会総会が開催された。式次第に従って会長挨拶が続いて新評議員紹介では兵庫支部安徳支部長が紹介され、功労者表彰では兵庫支部幹事を務めた前原賢作氏(40商)の名前が読み上げられた。(前原氏は都合により欠席された)

21年度事業報告、決算報告、22年度事業計画、予算等の報告があり、約30分で終了した。

続いて懇親会へと移り、今年の当番期0年度(30、40、50、60)の卒業生が中心となり、実行委員として世話役を引き受けていた。

進昭紘実行委員長(40商)や田村会長の挨拶及び学長やその他の来賓の挨拶があり、乾杯の後懇親会に入った。

矢田学長の報告によると、2005年～2009年に広範囲に亘る大学改革目標を掲げた中期計画を推進し、「地域貢献度日本一(08年)」にランキングされるなど、全国的に注目される成果を積み上げている。

大学評価について最も権威のある朝日新聞社の大学ランキングによれば、全国の高校指導者による総合ランキングで、国立大学を含む九州・沖縄地区で第4位にランク、全国750校のうち43位に入っている事を知り、大変誇らしく嬉しく思った次第。

最後は出席者全員(約300名)が全員で肩を組み羽織袴姿の応援団長(団員は2人)のエールで逍遙歌を歌い閉会となった。

### 本部事務局長に坪根孝司氏(44商)新任

村山昌生事務局長の10月31日付辞任に伴って、この程坪根孝司氏(44商)が後任として11月1日付で事務局長に就任された。

坪根氏は行橋市職員を定年退職後、地元の公民館長同窓会の評議員、行橋支部事務局長などを歴任されている。

なお、高野恵子事務局職員も9月30日付で依願退職し、後任に中尾恵美さんが採用され、上村美佐子さんと共に事務局職員として働く事になった。

従って事務局は、坪根事務局長と上村・中尾両名の従来通り3名で運営されることになる。

### 兵庫支部月例会10月「三金会」

10月15日(金)午後6時から定例会場「本館牡丹園」に於いて開催され、出席者6名であった。

17日(日)に開催される囲碁交流会(9月または10月第3日曜日提案)や翌週開催される同窓会総会(永翁氏派遣)等が話題となる。出席者は安德信義支部長(44商)永翁正臣副支部長(41商)大村実良(33商)高尾巖(36商)平間正昭(37商)名越英昭(37米英)



名越、大村、平間、高尾、永翁、安德

## 「三金会」「囲碁の会」会場ご案内 本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

### 「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費:3,500円(男性)

2,000円(女性)

### 「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～

参加費:無料、ドリンク/500円



### 第33回三金ゴルフ兵庫・関西合同コンペ成績表

平成22年10月13日(土) 於六甲国際ゴルフ倶楽部

順位	競技者	卒年	学科	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット
1	城戸善弘	41	中国	44	43	87	16.4	70.6
2	久芳健二	44	中国	54	51	105	34.4	70.6
3	三本 寛	41	中国	43	47	90	18.8	71.2
4	渡辺恭章	43	商	52	48	100	28.4	71.6
5	井上隆令		ゲスト	52	45	97	24.8	72.2
6	高井利治	42	商	53	49	102	29.6	72.4
7	中村明人	41	商	50	50	100	27.2	72.8
8	葉室新人	41	米英	44	42	86	12.8	73.2
9	山本信司	37	米英	44	41	85	11.6	73.4
10	村上勝幸	37	商	51	46	97	23.6	73.4
11	河野旺生	36	商	55	54	109	34.4	74.6
12	名倉勝征	41	米英	46	54	100	24.8	75.2
13	入駒誠志	39	商	55	46	101	24.8	76.2
14	御堂隆輝	47	経済	48	53	101	24.8	76.2
15	鷹野哲雄	33	商	56	56	112	35.6	76.4
16	永翁正臣	41	商	51	50	101	23.6	77.4
17	影山政雄		ゲスト	56	51	107	29.6	77.4
18	山浦邦夫		ゲスト	55	57	112	34.4	77.6
19	梶山泰彦	30	米英	57	54	111	33.2	77.8
20	羽山忠男	39	商	57	58	115	36	79
21	安德信義	44	商	57	51	108	28.4	79.6
22	青木富重	34	中国	55	51	106	23.6	82.4
23	後藤公一	38	商	63	56	119	36	83
24	松山 仁	44	商	65	52	117	32	85

ドラゴン賞:OUT ⑤井上、⑫青木、IN ⑤永翁、⑫三本

ニアピン賞:OUT ③御堂、⑧御堂、⑪山本、⑮山本

IN ③村上、⑧羽山、⑩久芳、⑮村上

ベスグロ賞:山本、BB賞:後藤

### 兵庫支部忘年会出席予定者(受付順) H22.11.19現在

案内総数123、出席21、欠席63、未回答39

回答保留中の方は是非出席の方向でご検討ください。

中村明人(41商) 藤田博保(35商) 久芳健二(44中)

大村実良(33商) 河野旺生(36商) 平間正昭(37商)

安德信義(44商) 高山行雄(45米) 森 護(47米)

二宮慶治郎(38米) 永翁正臣(41商) 浜田勝義(44米)

福永憲彦(44商) 高尾 巖(36商) 名越英昭(37米)

山田紘昭(44商) 大西 敏(46国文) 松山 仁(44商)

前原賢作(40商) 田副忠亮(45中) 植松久治(44米)

関西支部より

出口耕三幹事長(44米英)、

佐坂茂美幹事(43米英)



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

## 大村保険サービス

代表 大村実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

# 茶道部OB会IN奈良1300年祭

山田紘昭 (44商)

平成22年11月6日(土)は秋晴れの好天であった。私はバッグを片手に、肩からはポーチを提げて、午前9時に自宅を出発し、阪急、JR、近鉄線を経由して近鉄奈良駅へ。午前11時頃到着。茶道研究会OB会は、毎年秋11月に一泊OB旅行を行っている。当初、近隣のOBが少人数で始めたのだが、年々参加人数も増えて、私が知っているだけで大人数の会は既に5回目である。

毎年の旅行先はOBの住んでいる所にして、在住者が当番幹事として一泊二日の旅程を企画立案する。一昨年は、宝塚・神戸市を私が案内した。

今年は、奈良市在住のS46年経済卒のO氏が、平城京遷都1300年祭で盛り上がっている奈良市を案内してくれた。参加者は、総勢20名で男女10名ずつであった。卒年は最上級生がS42年卒で、最下級生はS48年卒であり、一名を除いて全員が60歳台であった。毎年の参加者もこの位で歳の差であるので話題も多くて和気藹々の旅行となる。又参加者は九州からが多いが、大阪、岡山、東京からも来る。

6日は午後1時JR奈良駅集合であったが、私は早く着いたので興福寺周辺を散策し、五重塔、東金堂の薬師如来坐像、日光・月光菩薩等を参拝した。何度か参拝しているが歳を重ねるほど仏像の優しさを感じる。

午後1時に全員が揃ったので荷物をホテルに預けてタクシーに分乗してお目当ての朱雀門、大極殿へと向かった。



(大極殿の前で)

最後の土日とあって人出は最高潮で、そろそろ人の波に従って歩いた。門から本殿までは広大な広場、前庭である。陽射しも強くなり仲間も上着を取って歩いた。大極殿本殿の威容は当時の権力者の力を感じさせた。政治や儀式が行われたこの本殿の目玉は天皇の玉座「高御座」であろう。前庭では蹴鞠の実演も行われていた。

一休みの後、又タクシーに分乗して少し離れた秋篠寺へ行く。静謐な佇まいに鄙びた小さなお寺である。堂内には薬師如来、不動明王、帝釈天等の尊像が鎮座されているが、吉祥と芸能を主宰する「伎芸天」像の天女の姿はなんとも艶めかしくて、美しかった。女史連中にも人気が高かった。秋篠宮様もお見えになるそうである。

一日目のメインは、近鉄奈良駅前の「大和路」と言う居酒屋での懇親会である。「よく歩いた」「今日は、家を出てから15000歩だ」「暑かった」「疲れた」「どっこいしょ…」と、全員ぐったりの様子だったが、足を伸ばせる掘りごたつ式の

テーブルだったので、皆「良かった」と。

最上級性M先輩(男)の乾杯の発声で飲み会が始まった。よく歩いたのでビールは格別であった。暫くの歓談後、各自で近況報告をした。

最初は、偶々ケニアのナイロビから帰国していたT先輩(女)の話、商社勤務中にはアメリカ滞在、その後商社マンの夫についてアフリカに行き、そのまま30年間アフリカに在住して、今はナイロビで、一人で孤児院を経営しているそうだ。ナイロビの人々の暮らしぶり等興味ある話を聞く事が出来た。思い立ったら行動する性格のような人で正に波乱万丈の人生を送っている。「サンデー毎日です。週に2日は母親に会いに施設へ行きます。後はゴルフ三昧です」と言ったのは45年卒I氏(男)「娘婿が関西にいます。婿は松下政経塾を出ています。将来は議員さんを目指しています」と婿自慢の43年卒E先輩(男)「九州では貰ってくれる人がいなかったの、東京の人と結婚しました。孫が出来ました。私が茶道部に入ってから男性部員が増えました」と学生時代からぜんぜん変わっていない、いつも明るい45年卒Mさん(女)

酒が回ってくると余り人の話は聞かなくなりましたが、それでも、それぞれが思いを喋った。女性陣は旧姓で呼ばれると5歳は若くなった気がするとのこと。

私は当時の副部長時代からの続きで、社会人になってからも二番手の人生を送っているような気がすると言う様な事を喋ったようだ。

更に、この会の発起人でずっと世話をしている45年卒K氏が「来年は、宮崎在住のHが教員の嘱託も終わったので、宮崎にしよう」と発言。

最後に同じくK氏が「みんなで校歌と逍遙歌を歌おう」となり、歌詞を配布。恒例の大合唱となった。そのままホテルに帰り、又ロビーで喋り、そのうちそれぞれの部屋に入って行った。

7日は、朝から雨模様で曇っていて少し寒い。8時にホテルを出発。「正倉院展」を見学するために徒歩にて奈良国立博物館へ行く。9時会場であったが、8時半から、30分の待ち時間で中に入る事が出来た。

すごい人数で、そろそろと陳列品を見学。

一番人気は世界に一つしか残っていないと言う「螺鈿紫檀五絃琵琶」だった。背面の咲き誇る唐花文は実に綺麗だった。聖武天皇遺愛の品だそうだ。天平時代の銅製鏡や木簡、戸籍簿等の陳列品を見学。更に仏像間で国宝や重文の仏像を見学した。

見学後、昼食は奈良公園内の奈良中央公会堂で「天平弁当」を食した。天平時代の太官人も食べたであろう上品なものだった。この中央公会堂は薨の大屋根が大変立派な、堂々たる建築物であり、お庭も素晴らしい。またその中の檜舞台(能舞台)も特別に拝観させてもらった。

昼食後解散となったが、「また来年会いましょう」「元気でね」と別れを惜しみながら三(筆者山田紘昭氏)々々々、国宝の特別展示品を観に行く者や買い物をする者など分かれて行った。私は、先輩後輩4人と東大寺の大仏殿を参拝した。大仏様の大きさに又感動した。



(奈良公園にて)



**書籍紹介**

浜田勝義 (44米英)

最近読んだ本で、外国人は日本と日本人をどう見ているのか、と言う大変興味あるテーマで書かれた本を紹介したいと思います。

Brian W. Powle著 "My Humorous Japan" のPart 3, P124に "Things Foreigners Like and Dislike about Japan" という見出しで、世界中の異なる国籍を持つ学生や実業家、主婦が国際討論会で述べた意見が紹介されているので、一部を翻訳して皆さんにお届けする。

ほとんどの日本人は日本が気に入ったようだ。日本は安全なので。

ブラジル出身のある少女：東京のどこでも夜一人で歩き回れる。全く安全だと感じる。リオデジャネイロの夜とは違う。夜うしろで足音を聞くと、とても不安に感じる。

アメリカの男性：英語を教えに日本に来た。なぜならドルに換算すると給料がとても高いように思えたので。しかし、アメリカ合衆国では、アパート代も1ヶ月 400ドルかかったのが、日本では1000ドル払わなくてはならなかった。又、食物から切符に至るまであらゆるものが高いため、貯金するのは不可能だと分った。(一部省略)

あるヨーロッパの男性：日本人の間にいるのが好きだ。なぜなら、彼らは魅力的で感じの良い人々だ。少女達はとても可愛くて、うまく着こなしている。路上で彼女達を見るのは本当に楽しみだ。

フィリピン出身のある少女：日本の男性が気に入った。私はいつも彼らが親切で品行が良いと分った。あなたが最初に日本人に会う時、彼らは幾分恥ずかしがるのは事実だが、一緒にいると楽しい。日本人の中にはあまり飲み過ぎると少し下品になる人もいます。

もう一人のフィリピンの女性：私は日本人と結婚した。私の夫のシゲオはとても親切だ。私達はすてきなアパートを持っている。彼はお金に寛大だ。しかし、結婚して4年になり子供もいるが、私はもっと親密な関係になりたい。帰宅は毎晩夜遅い。彼は帰宅するとあまり話をしない。彼は黙って夕食を食べ、テレビで野球を見て、それから寝る。私が何か違ったことをするよう提案すると、彼はいつも言う。「私は疲れ過ぎているんだ。そういうことは後日しようよ」と。私は彼にもう少し情熱的になってほしいと思う。

東京の交通機関に関しては、一般的なお褒めの言葉があった。世界の他の首都と違って、列車は速くて綺麗で回数が多く、しかも時間通りだ。しかし、当然討論会の参加者は、混雑した状態は好きではなかった。特に時々いたずらされる可愛い少女達がいると言う現実には好きではなかった。それに反して、ロンドンの列車はしばしば遅れる。又、ニューヨークの地下鉄は、汚くて、暗くて、危険だ。

殆んど全ての参加者は、日本の食べ物を楽しんだ。あるドイツの男性は時にテーブルの周りの床に座って客をもてなす日本の方法が好きになった。すき焼きや鍋料理の様に、中央の一つのボールが肉や魚を自由に取って食べる事は大変くつろげた。そんな和気藹々とした雰囲気を得る事が出来る。

食べ物は常に温かく、欲しいと思う適量の食べ物を取って食べる事が出来る。準備するのも簡単で、後でさほど多くの皿を洗う必要もない。実にすばらしい。ドイツに帰ったら、妻と私が友人をもてなす方法にしたい。私達はとても人気者になると思う。

多くの日本人は、外国人は「さしみ」を食べるのは好きではないと思っている。これは間違った考えの様だ。殆んど全ての人はすしが好きになったので。

バングラディッシュ出身のある男性は、回転ずしを楽しんでいると言った。それは安いし、どのすしを選ぶかを決める時、「すしがぐるぐる回ってくるのを見るのは面白い。(一部省略)

たいていの外国人は、日本の人々はとても親切だと感じている。最初は日本の人々はあまり親しみやすいと思えないが、しかし、それは彼らが恥ずかしがり屋だからと思う。あなたは、日本人と知り合いになると彼らはとても親切で助けになる。彼らはまた清潔で正直だ。他の国と違って大金を持ち運んでもまったく安全だ。財布がポケットにあるかどうかチェックし続ける必要はない。(一部省略)

大部分の参加者達は、彼らが日本にいる事を本当に楽しんでいると言った。彼らは時に四季があることが気に入った。1年の彼らの好きな時期としては春と秋だが、桜の花は彼らが期待していた以上のものだったのだ。「桜の花の下で友人と酒を飲むことは格別である。ヨーロッパではそのようなものは何もない」とあるイタリア人が言った。

一般的に言うと、日本について積極的な考えが否定的な考えを上回った。

さてこの内容は1990年代のもので、今とは多少異なるかも知れないが、日本と日本人を的確にとらえていると思う。今、外国人に日本と日本人について尋ねると、日本の総理大臣は、ここ数年1年ごとに交代しているという政治に対する不信や家庭や社会が希薄になり、虐待の多さが指摘されるかも知れない。

この本、"My Humorous Japan" はPart 1, Part 2, Part 3 が日本放送(NHK)出版から発売されており、"My Humorous World" Part 1, Part 2, Part 3 と共に、平易な英語で書かれ辞書なしで、楽しく読める本なのでお薦めします。

**投稿大歓迎**

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

**広告大歓迎**

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

**編集後記**

\*中旬位には、遅くとも三金会までは…と思いながら発刊が遅れがちになり申し訳なく思っています。

\*今月は予定外の寄稿、それも力作ばかりで急遽6頁とし、一頁と最終頁のみカラーと致しました。

\*初代兵庫支部長の村山昌生事務局長がご退任されました。長い間ご苦勞様でした。

歩こう会10月例会

大神(オオミワ)神社と三輪山参拝登山

10月10日(日)奈良県桜井市の大神(オオミワ)神社に参拝し、その御神体である三輪山(ミワマ)に登ることになり、阪神、近鉄そしてJR桜井線と乗り継ぎ三輪駅に集合する事になったが、またもや一電車遅れてしまい、近鉄桜井駅からJR三輪駅まで、運行本数が少なく、元田氏と共にタクシーを飛ばす破目になってしまった。



(JR三輪駅)

三輪駅で先着していた人達と合流し、駅前のすし店で昼食弁当を調達して、先ずは大神神社へと向かう。



(大神神社入口の鳥居)

大神神社の御神体は三輪山であり、本殿は設けず拝殿の奥にある三つ鳥居を通しお山を拝するという原初の神祀りを今に伝えている我国最古の神社である。

朝の10時過ぎで時間が早かったからか、参道の出店も開店しておらず、人もまばらだった。

やがて神社入り口の鳥居をくぐり、さらに5分位歩いて、大神神社本殿前までやってきた。



(大神神社拝殿)

また「お酒の神様・醸造の神様」として崇められている。大和国黎明期に人心が散り散りなりお酒を献じて、心を一つに力を合わせて国家再建の目的を成し遂げたと説明されている。神代の昔からノミネーションは行われていた様だ。



(くすり道)

大神神社左側の「くすり道」を通って薬の神様・狭井神社へと向かう。薬業関係者奉納の薬木・薬草が植えられているとのこと。

狭井神社に到着し、三輪山への入山申込所に行くと、まだ受付されていない。前日の雨で足元が悪くなっているためか、入山開始の時間を遅らせているようだ。

10時40分頃受付開始、入山料300円で二宮会長が一括して全員の申込をし、入場券ならぬ三輪山参拝証と書かれた白い布の褌と参拝案内図とともに入山心得十箇条書かれたプリントを配布。



(褌をかけ、心得を読む)

- ①三輪山は神体。敬虔な気持ちで登山。
- ②入山前各自御幣でお祓いせよ。
- ③入山中は褌をかけよ。
- ④行程は上り下り約4キロ。
- ⑤登山所要時間普通2～3時間。
- ⑥山中での飲食不可。
- ⑦山中の草木・土・石は採取不可。
- ⑧供物は持ち帰れ
- ⑨下山は十分に注意せよ。
- ⑩下山は午後4時までに。

勿論山中は焚火、タバコなどの火気厳禁、撮影禁止なので、読者諸氏には拙い文章のみでしかお山のことを伝える事ができない。

神社右手の登拝口の横にある御幣で相互にお祓いの儀式を済ませて、いよいよ入山です。首からぶら下げていたカメラを誤解されないようにポケットにしまい込み、先ずは緩やかな階段を登って行く。やがて急坂の地道を上り、滝のある休憩所に到着。狭井神社が標高80m、でこの休憩所で標高270m。ここで一息いれ再び登山始めると、下の方から白装束の山伏姿の一行が「六根清浄」「懺悔懺悔」と大声で唱えながら登ってきたので道を譲る。



道は古道を思わせる雰囲気のある道もあり、急峻な坂道もあり、こりゃあ金剛山登山と匹敵する位しんどい山だ、と思いながら山頂近くまで来ると小さな祠が見えてきた。案内図によると標高446.7mにある高宮神社だ。さらに奥へ少し進むと標高467.1mの頂上だ。1時間15分かかっていた。少し前にお湿り程度の小雨がぱらついていたので、下山道は少々道がぬかるみ慎重に慎重にと歩き、上りより少し多く時間がかかり結局2時間40分位で狭井神社に戻り、参拝証の褌を返却する。この狭井神社横には、万病に効くという薬水が湧き出る「薬井戸」があり、持参した空のペットボトルに「ご神水」を汲み持ち帰った。

狭井神社から東へ進み、少し上った所に大美和の杜展望台へ。ここから大和三山の耳成山、畷傍山そして香具山が一望できる。この眺望を楽しみながら遅めの昼食を取る



(左から香具山152.4m、畷傍山198.8m、耳成山139.6m)

昼食後、展望台を下りて行くと、知恵の神様久延彦(ケヒコ)神社だ。学業の守護神・知恵の大神だと案内板には紹介されている。天神様みただけけど古事記にも記されているという、居ながらにして世の中の事をことごとくお知りになっておられると言う知恵の大神とのことで、受験生には大変ありがた〜い神様らしい。

大美和の杜展望台から眺望した大鳥居まで歩き約20分で到着した。

この大鳥居は昭和天皇御幸を記念して昭和60年に建立されたもので、対候性鋼板で作られ、マグニチュード10の地震に耐え、耐久年数1300年といわれ、高さ32.2m柱間は23mの日本一の大鳥居だとか。桜井駅まで2kmばかりを歩くつもりが、丁度バスの時間だったのでバスを利用し桜井駅まで、近鉄鶴橋経由で帰路につく。



(大鳥居と三輪山)